

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月6日

上場会社名 株式会社 藤商事 上場取引所 東
 コード番号 6257 URL <https://www.fujimarukun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今山 武成
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 村上 和繁 TEL 06-6949-0323
 四半期報告書提出予定日 2023年11月7日 配当支払開始予定日 2023年12月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	18,293	6.6	2,583	1.6	2,590	△3.0	2,407	△2.5
2023年3月期第2四半期	17,156	119.3	2,543	—	2,669	—	2,469	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 2,342百万円（△4.0％） 2023年3月期第2四半期 2,441百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	115.24	—
2023年3月期第2四半期	110.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	50,065	41,608	83.1
2023年3月期	51,160	39,788	77.8

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 41,600百万円 2023年3月期 39,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	20.4	5,000	29.0	5,000	23.0	3,500	△33.9	167.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	24,395,500株	2023年3月期	24,395,500株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,500,154株	2023年3月期	3,500,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	20,895,358株	2023年3月期2Q	22,395,446株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、決算説明会（アナリスト、機関投資家向け）をオンラインで実施いたします。なお、決算説明資料については、2023年11月7日（火）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融引き締めにもなう海外景気の下振れリスクや物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に留意することが必要な状況にあるものの、雇用・所得環境が改善するもとで各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しております。

パチンコホール業界におきましては、大衆娯楽として健全かつ安心・安全な遊技環境を提供することを継続して推進しているなかで、スマート遊技機（スマートパチンコ・スマートパチスロ）の普及に向けて取り組んでおります。特にスマートパチスロにつきましては、スマートパチンコに比べて導入時期が早かったことや、ゲーム性が大幅に向上したこと、および注目度の高い機種が複数発売されたこともあり、スマートパチンコに先行して普及が進んでおります。

遊技機業界におきましては、パチンコ遊技機では市場全体の稼働状況が前年を下回る水準で推移しておりますが、一部メーカーの主力タイトルがスマートパチンコで発売されるなど、今後もスマートパチンコによる市場の活性化が期待されております。一方、パチスロ遊技機ではスマートパチスロが市場を牽引する形で稼働は回復しており、当社グループを含めたパチスロメーカー各社から発売される主要な機種が多くがスマートパチスロとして発売されております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、スマート遊技機の開発促進を最重点課題としたうえで、引き続き、市場トレンドの先端を行く機種開発に取り組み、お客様に支持される遊技機を安定的に供給することにより、販売台数の確保に努めております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、パチンコ遊技機では、若年層向けアニメタイトルや当社グループの定番ホラータイトルなど新たに3機種を市場投入し、そのうち1機種を当社グループ初のスマートパチンコとして市場投入いたしました。また、パチスロ遊技機では、新たに1機種を市場投入したことに加え、前年度に発売した当社グループ初のスマートパチスロが本格的に導入開始されました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高182億93百万円（対前年同期比6.6%増）、営業利益25億83百万円（同1.6%増）、経常利益25億90百万円（同3.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億7百万円（同2.5%減）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、新規タイトルとして「Pゴブリンスレイヤー」（2023年4月発売）、当社初のスマートパチンコである「スマパチ RAVE 覚醒ループ」（2023年6月発売）、「Pリング 呪いの7日間3」（2023年8月発売）を市場投入したほか、前連結会計年度に発売したシリーズ機種などを継続販売いたしました。以上の結果、販売台数は28千台（対前年同期比24.4%減）、売上高は107億47百万円（同29.1%減）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機につきましては、新規タイトルとして「パチスロ 戦国十恋姫」（2023年6月発売）を市場投入したほか、前連結会計年度に発売した当社初のスマートパチスロ「Lゴブリンスレイヤー」が本格的に導入開始されました。

以上の結果、販売台数は16千台（対前年同期比234.7%増）、売上高は75億46百万円（同276.8%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は315億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億44百万円減少いたしました。これは主に、原材料及び貯蔵品が17億94百万円増加したことに対し、現金及び預金が17億54百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が12億55百万円減少したことによるものであります。固定資産は184億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億49百万円増加いたしました。これは主に、長期前払費用が7億52百万円、繰延税金資産が2億71百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は500億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億95百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は66億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億26百万円減少いたしました。これは主に、買掛金が14億34百万円、未払法人税等が3億72百万円減少したことによるものであります。固定負債は17億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は84億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億15百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は416億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億20百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益24億7百万円および剰余金の配当5億22百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は83.1%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、182億46百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、3億70百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益25億37百万円、売上債権の減少額12億55百万円が増加の要因であり、仕入債務の減少額12億16百万円、長期前払費用の増加額11億62百万円が減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、16億2百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出10億35百万円、投資有価証券の取得による支出4億円が減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、5億22百万円となりました。

これは主に、配当金の支払によるものであります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は当初の計画どおり進捗しております。第3四半期以降において当社グループの主力タイトルである「スマスロ とある魔術の禁書目録（インデックス）」など複数の新機種を市場投入予定であり、現在のところ2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,402	18,648
受取手形、売掛金及び契約資産	5,839	4,583
商品及び製品	915	13
原材料及び貯蔵品	4,987	6,782
前渡金	1,843	1,173
その他	474	514
貸倒引当金	△144	△141
流動資産合計	34,318	31,574
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,696	2,668
土地	3,152	3,152
その他（純額）	1,492	1,684
有形固定資産合計	7,341	7,505
無形固定資産	663	750
投資その他の資産		
投資有価証券	4,732	4,985
長期前払費用	2,208	2,960
繰延税金資産	1,214	1,485
その他	1,172	1,292
貸倒引当金	△491	△488
投資その他の資産合計	8,837	10,235
固定資産合計	16,842	18,491
資産合計	51,160	50,065

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,691	4,257
未払法人税等	751	379
賞与引当金	606	610
役員賞与引当金	126	—
その他	2,443	1,447
流動負債合計	9,619	6,693
固定負債		
退職給付に係る負債	839	850
その他	912	912
固定負債合計	1,752	1,763
負債合計	11,372	8,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,228	3,228
利益剰余金	35,583	37,469
自己株式	△4,685	△4,685
株主資本合計	37,408	39,293
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,446	2,343
退職給付に係る調整累計額	△74	△37
その他の包括利益累計額合計	2,371	2,306
新株予約権	8	8
純資産合計	39,788	41,608
負債純資産合計	51,160	50,065

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	17,156	18,293
売上原価	7,621	8,088
売上総利益	9,535	10,204
販売費及び一般管理費	6,991	7,621
営業利益	2,543	2,583
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	34	35
利用分量配当金	4	17
違約金収入	75	—
その他	34	41
営業外収益合計	148	95
営業外費用		
賃貸収入原価	2	2
シンジケートローン手数料	6	84
貸倒引当金繰入額	13	—
その他	0	0
営業外費用合計	21	87
経常利益	2,669	2,590
特別利益		
固定資産売却益	0	2
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	0	3
関係会社株式評価損	—	52
特別損失合計	0	56
税金等調整前四半期純利益	2,670	2,537
法人税、住民税及び事業税	442	356
法人税等調整額	△241	△226
法人税等合計	201	129
四半期純利益	2,469	2,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,469	2,407

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,469	2,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	△102
退職給付に係る調整額	△26	37
その他の包括利益合計	△27	△65
四半期包括利益	2,441	2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,441	2,342

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,670	2,537
減価償却費	825	803
貸倒引当金の増減額（△は減少）	16	△5
賞与引当金の増減額（△は減少）	299	3
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	—	△126
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△13	47
受取利息及び受取配当金	△34	△36
固定資産売却益	△0	△2
固定資産除却損	0	3
関係会社株式評価損	—	52
売上債権の増減額（△は増加）	984	1,255
棚卸資産の増減額（△は増加）	△909	△892
前渡金の増減額（△は増加）	7	669
長期前払費用の増減額（△は増加）	178	△1,162
仕入債務の増減額（△は減少）	△72	△1,216
未払金の増減額（△は減少）	157	△561
その他	132	△320
小計	4,239	1,050
利息及び配当金の受取額	35	35
法人税等の支払額	△52	△715
法人税等の還付額	319	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,541	370
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の取得による支出	—	△400
有形固定資産の取得による支出	△377	△1,035
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△82	△94
関係会社株式の取得による支出	—	△76
その他の支出	△4	△2
その他の収入	9	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△253	△1,602
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△560	△522
財務活動によるキャッシュ・フロー	△560	△522
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,727	△1,754
現金及び現金同等物の期首残高	18,877	20,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,605	18,246

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。